

中学校 特別活動学習指導案

廿日市市立廿日市中学校 岡寺 裕史

- 1 対象学年 第1学年
- 2 題材名 「地域の人々から学ぶ」

3 題材設定の理由

ア 題材観

学校を取り巻く地域には、身近でしかも生徒の心を打つ生き方をしている方が必ずいる。その中で、教師は様々な工夫を加えながら、生徒の心に響くような「あるべき生き方」を伝え、自分の進路についてしっかり見つめ考えさせるように話をしていく。しかし、それはあくまで「あるべき生き方」であり、実感のともなわない「シュミレーション」に過ぎない。また、教師は、学校という枠の中にとらわれる傾向があり、それがますます社会の現実と指導を遊離する原因となっている。それに対して、実際に社会で働いている方々は、現実の問題と向き合って日々取り組んでいる。このような「生き方」を生徒に伝えるためには、地域で働く方々に直接話を聞くことが必要である。進路学習では、教師による「あるべき生き方」を伝えながら、一方で現実の社会の中で必死で働き、生きている人の姿から働くことの意義について学ぶことが大切である。また、このような学習を通して、生徒は、現在と将来の連続性の中で今の中学生としての自分があることを知るのである。

「地域の人々から学ぶ」では、生徒に「生きる力」を育む意味において、この両面が大切であると考え、題材を設定した。

イ 生徒観

本学級の生徒は、全体的には授業に対して与えられた指示をよく守り、まじめに取り組むことができる。しかし、生徒は、道徳の時間などで自分の考えや意見を人前で発表する場面になると、自分の意見を持たず、発表することに躊躇したり、活発な展開ができにくいことがある。自分の夢や生き方について、4月に書いた「なりたい職業」と対比させながら、この1年間の自分の成長に気づかせるとともに、地域の方から話を聞くという新鮮な経験を生かして、自分の意見をきちんと伝えたり積極的に学ぶ意欲を高めていきたい。

ウ 指導観

展開に当たっては、オリエンテーションで目的を共有化し、その後の調べ学習で自分の選んだ職種・職業について書籍・インターネット（プリントアウトしたもの）で調べ

ていく。ここでは、単に調べたことをまとめることにとどまらず、そこから出てきた疑問や課題を事前に講演者に伝え、当日話していただくように仕組むことで、調べること、聞くことについての意識を高めたい。

学習ノートを活用する場面では、学習の見通しを持たせ、1時間の授業のねらいを明確にすることで、個に応じた支援を進めていきたい。また、学んだことをまとめ、発表会を持つことで、知識を得るだけでなく、それを自分の生活に生かし、今後の生き方を向上していこうとする意欲につなげたい。

また、この学習では、2学期の「総合的な学習の時間」で培った「学び方」や「主体的に学ぶ意欲」を生かし、職業について深く考え、自らの進路について真剣に見つめなおし、実際に働いている人から学ぶことを通して、日常生活の向上につなげたい。また、第2学年では「トライやる・ウィーク」(職場体験学習)を計画している。今回の学習は、「トライやる・ウィーク」に関連する意味からも、少しでもその人の「生き方」に迫れるようにしたい。

4 指導目標

- (1) 様々な職業の方々の話に触れることにより、職業に対する興味・関心を高め、生徒個々の職業観・人生観を育てる。
- (2) 自分の将来に対する夢や希望をもたせ、それを実現するために今何をすべきかを考えさせ、自らの進路(生き方)につなげていく。
- (3) 校外学習での経験を生かし、自ら学ぶ意欲を大切にして、調べたこと、聞いたことを的確にまとめ、伝える力を更に伸ばす。

5 指導計画

- (1) オリエンテーション(1h:学級活動)
- (2) 講演者紹介・分科会选择(1h:学級活動)
- (3) 職業調べ・質問項目作成とまとめ(4h:放課後の利用)
- (4) 講演会(分科会)の運営の仕方・準備(1h:学級活動)
- (5) 講演会(2h:学校行事) 本時
- (6) 振り返り、学んだことのまとめ(1h:学級活動)
- (7) 発表資料作成(2h:放課後の利用)
- (8) 学級発表会(1h:学級活動)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

地域の人のお話を聞くことにより、進路選択に対する関心を深める。

働く人の歩みを知ることにより、自らの生き方について考える。

(2) 評価の観点

地域の人のお話を聞くことにより，進路選択に対する関心を深めたか。

働く人の歩みを知ることにより，自らの生き方について考えたか。

(3) 準備物

本時の学習プリント

「地域の人々から学ぶ」学習ノート

(4) 本時の展開

	指導内容及び発問	生徒の活動・反応	教師の支援 と評価
導 入	今日の授業のねらいと，講師の紹介を行う。	講師の紹介を聞く。	
展 開	<p>講演者は，自分の職業，今までの歩みについて，事前の質問に対する答えを含めながら話をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・現在の職業の紹介・どんな気持ちで仕事をしているのか・中学生の頃の生活の様子や考え・進路選択で考えたこと・現在の仕事を選んだ理由・中学生に期待すること <p>働いている様子ができるだけ具体的に分かるように，実物，写真，VTRなどを提示してもらう。</p> <p>質疑応答を行い，</p>	<p>生徒の司会者が進行する。</p> <p>講師の話聞く。</p> <p>事前に調べたことと講演者の話を比べながら，職業・職種の実現についてより深く知る。</p> <p>事前の質問についての答えや，疑問・質問等があれば，学習ノートにメモしていく。</p> <p>話が終わったら，感謝の気持ちを込めて拍手をする。</p> <p>生徒の司会で，運営を進めさせる。</p> <p>当日の話を聞いて疑問に思</p>	<p>事前の打ち合わせの中で，話の内容に，生徒からの質問を含めてもらうように依頼しておく。</p> <p>実物提示などについて，講演者の援助をする。</p> <p>2学期の「話の聞き方」を生かして，興味・関心を持って講演者の話を聞いていたか。（観察）</p> <p>感謝の気持ちを込めた態度がとれたか。（観察）</p> <p>必要に応じて教師も質問する。</p> <p>当日の話を聞いて疑</p>

	生徒の質問に答えてもらう。	<p>ったことを質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やめようと思ったことはありませんか。 ・中学生の時の勉強は役に立っていますか。 ・がんばったらその仕事に就くことができますか。 	問に思ったことを質問しようとしたか。
ま と め	<p>感想を発表する。</p> <p>講演者が評価する。</p> <p>「お礼の言葉」を講演者に述べる。</p>	<p>講演を聞いて、心に残ったこと、感動したこと、自分の生活に生かせそうなところについて発表する。</p> <p>講演者からの評価を聞く。</p> <p>担当の生徒が、お礼の言葉を発表する。</p>	<p>様々な感想を持った生徒の意見を通じて、様々な見方があることを知らせる。</p> <p>意欲的に発表したり、人の話を真剣に聞いているか。(観察)</p> <p>生徒から出てこなかった見方を含めて、自分の生活について振り返り、今後に生かしていくこと、職業の中身、生き方について、地域の人から学ぶことが大切であることを話す。</p> <p>教師の話を真剣に聞き、自分の生活にどういかしていけばよいか、自分なりの考えを持とうとしていたか。(観察)</p>
次 時 の 予 告	今日学んだこと、わかったことを次の時間にまとめるなどの説明をする。		次時への意欲を持たせる支援を行う。